

CT 検査の医療被ばくに関する説明書

□検査の必要性について

検査の必要性が被ばくのリスクを上回ると考えられる場合のみ検査を行います。

□線量の最適化について

最適な条件で検査を行い、放射線被ばくを必要最小限にすることを実践しています。
小児においては患児の体格にあった撮影条件を用い、より一層の被ばく低減に努めています。

□被ばく線量について

CT検査による被ばく線量を下記に示します。 検査部位や方法で異なり、実際の被ばく線量は増減します。

一般的には、100mSv 以下の放射線被ばくによる影響はほとんどないと考えられています。
発がんのリスクにおいても、食事やストレスなど放射線被ばく以外の因子によるリスクと区別できないと言われています。

CT 検査のおよその被ばく線量

検査部位	一般的な被ばく線量 (mSv)	当院での被ばく線量 (mSv)
頭部	2.9	2.5
胸部	7.2	4.5
腹部	13.2	7.5
胸腹部	18	7.7
心臓(冠状動脈)	18.2	8.9

診断参考レベル DRLs2020 より算出

□妊娠または妊娠の可能性のある方は検査が出来ない場合がありますので、事前にお知らせください。

□被ばくに関するご質問等ございましたら、担当医師または担当診療放射線技師（2F 放射線受付）までお申し付けください。

医療法人あかね会 土谷総合病院